

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 L I G H T			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ~ 令和7年2月28日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	33人	(回答者数)	31人	
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ~ 令和7年2月28日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	5人	(回答者数)	5人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しみに通園している。	イベントだけでなく、日々の生活活動の中で、個々に寄り添った支援を行っている。	自己選択の選択肢を更に増やし、活動の取り組みへの意欲に繋げる。
2	療育スペース・活動内容。	1階と2階があり、主に運動をするスペースと机上活動をするスペースとに分け、気持ちの切り替えを行っている。	少人数グループに分け集中できる環境を作り、取り組みへの強化を図る。
3	SNSでの発信。	行事のお知らせや、普段のありのままの子どもたちの様子を、日々発信している。	引き続き日々の発信を行いながら、イベントなどの様子も積極的に発信していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えた訓練の発信。	事業所にて行っている訓練の発信が不足していた。	訓練当日ご利用していないご家庭にもしている事が分かるよう、連絡帳やSNSを使って発信していく。
2	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策マニュアル訓練の周知。	事業所にて行っている研修や訓練の発信が不足していた。	ご利用されている全てのご家庭に安心してご利用していただけるように、行った研修や訓練の様子を連絡帳やSNSを使って発信していく。
3	ご家族同士の交流会など。	ご家族参加型イベントの開催時期が遅く、参加できなかった家庭が多かった。	新たにご家族参加型のイベントを企画し、事前に連絡帳やSNSにてお知らせしていく。